

報道発表

平成31年4月15日 島根県美郷町

暑い夏に向かって衣替え！

今年のクールビズは、インドネシア・バリ島の伝統衣装「バティック」を活用

進退をかけて熱く活動する「みさ坊」も、町長とともにバティック姿でPR！

美郷町では、5月から「クールビズ」の取り組みを始めます。この夏のクールビズでは、25年間、町が交流を続けるインドネシア・バリ島マス村の伝統衣装のバティックシャツの着用を推進し、今後の交流の発展に向けた機運の醸成を図ります。

取り組み開始を前に発表会を行います。発表会では、嘉戸隆町長がバティック姿を披露し、取り組みに関する経緯や今後の交流の展開を説明します。

(日時) 平成31年4月24日(水) 11:15~

(会場) 美郷町庁舎 2階多目的室(邑智郡美郷町粕淵168)

(特記) 進退をかけて必死に活動中の「みさ坊」(美郷町アンバサダー)も特製バティック姿を披露！

※同日には(9:30~/同会場)、「美郷町・鳥取環境大学・(株)テクノシステム」の気象研究、観光資源活用に関する連携協定締結式も行います。



<ここがポイント・・・なぜバティック？>

① バリ島マス村との25年の交流の歴史(民間レベルの交流)

合併前の旧邑智町から、カヌーによるまちづくりを縁に、25年にわたり交流を続けています。

この交流は民間レベルまで広がり、信頼関係を築いてきていました[マス村の技術研修生受入・高校生留学やホームステイ、邑智高校(当時)のバリ島修学旅行等]。そして、この1月には、美郷町の訪問団がマス村を訪ね、友好協定を更新。これを機に、交流を発展させていく考えです。

② 美郷町はバリ島と姉妹都市提携する唯一の自治体

インドネシアと姉妹都市提携しているのは7自治体で、町村では美郷町だけ、更にバリ島との提携は美郷町が唯一です。

③ 5月下旬には、マス村からの訪問団が来町

5月27~29日の3日間、美郷町を訪問し、視察や交流をします(バリ州「ギャニール県」知事へも招待状を送っています)。今回の発表(取り組み)は、このイベントにも位置付けています。

◆ 美郷町とマス村との交流の展開(予定)

- ① 中学生同士のインターネットを利用した交流
- ② マス村から美郷町のゴミ処理の仕組み、システムの視察
- ③ マス村・ギャニール県からの技能実習生、特定技能労働者の受け入れ

◆ バティックとは・・・インドネシア、マレーシアのろうけつ染め布地の特産品。インド、スリランカ、などでも多く見られるが、インドネシア、マレーシアのものが最も多い。現地の正装でもある)

【お問い合わせ先】 総務課行政管理室行政改革係 中原
電話 0855-75-1211(内線212) F A X 0855-75-1218
メール nakahara-terufumi@town.shimane-misato.lg.jp



50 Tahun DESA OHCHI
Selamat dan Semoga Tetap Jaya

参考 バティック柄